

組 合 沿 革

昭和 54 年 12 月	御坊市周辺広域市町村圏広域消防体制の調査及び研究を目的に「御坊周辺広域消防調査研究会」を発足。																
昭和 56 年 5 月	調査研究会における検討の結果、「諸般の事情により御坊市を含む広域消防体制は現状では困難である。」との報告書が提出される。																
12 月	7ヶ町村（美浜町、日高町、由良町、川辺町、中津村、美山村、印南町）に「広域消防計画に係る意見報告書」を提出。																
昭和 57 年 2 月	7ヶ町村から広域消防計画推進の同意が得られる。																
12 月	各町村議会において「日高広域消防事務組規約」議決。 日高広域消防事務組合設立許可申請書を県知事あて提出。28日付設立許可。																
昭和 58 年 1 月	第1回組合議会を開催し、初代管理者に日高町長 一松春氏が就任。 消防本部（署）、印南出張所、中津出張所庁舎建設用地購入。 消防庁舎新築工事起工式を実施。																
4 月	中堅幹部職員として、由良町、日高町、川辺町、中津村、印南町から各1名当組合へ派遣される。 御坊周辺市町村圏組合救急センターから職員7名派遣される。 新規職員 36名採用。																
7 月	職員1名採用。 中津、印南出張所庁舎完成。																
8 月	消防本部（署）庁舎完成。 職員1名採用。 日本消防協会から救急車1台寄贈。																
9 月	消防庁舎竣工式を実施。																
10 月	業務開始（1本部、1署、2出張所）。 消防職員 本部（署） 24名 出張所 26名（各13名） 配備車両（本部及び所）																
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">水槽付消防ポンプ自動車</td> <td style="text-align: right;">1台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">消防ポンプ自動車</td> <td style="text-align: right;">3台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">軽四輪小型動力ポンプ積載車</td> <td style="text-align: right;">3台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">救急車</td> <td style="text-align: right;">3台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">広報車</td> <td style="text-align: right;">3台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">指令車</td> <td style="text-align: right;">1台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">指揮車</td> <td style="text-align: right;">1台</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">救助資機材積載車</td> <td style="text-align: right;">1台</td> </tr> </table>	水槽付消防ポンプ自動車	1台	消防ポンプ自動車	3台	軽四輪小型動力ポンプ積載車	3台	救急車	3台	広報車	3台	指令車	1台	指揮車	1台	救助資機材積載車	1台
水槽付消防ポンプ自動車	1台																
消防ポンプ自動車	3台																
軽四輪小型動力ポンプ積載車	3台																
救急車	3台																
広報車	3台																
指令車	1台																
指揮車	1台																
救助資機材積載車	1台																
昭和 59 年 3 月	職員定数条例改正。定員 63名。																
4 月	職員8名を増員。総員 58名。 消防長に鈴木計美氏就任。（3日）																
10 月	業務開始一周年記念式典を実施。																
昭和 60 年 4 月	職員2名を増員。総員 61名。																
昭和 61 年 1 月	日本自動車工業会から救急車1台寄贈。																
3 月	町村職員（派遣職員）帰任。																
4 月	新規職員5名採用。																

昭和 63 年	1 月	湯浅広川消防組合と消防相互応援協定締結。																											
	12 月	組合議会全員協議会において、3 町村（龍神村、南部川村、南部町）の当組合加入の要望について報告。																											
平成 元年	3 月	社団法人和歌山県農協共済福祉協会から救急車 1 台寄贈。																											
	9 月	龍神村、南部川村、南部町 3 町村から「当組合加入申入れ書」が提出される。組合議会全員協議会において、3 町村の組合加入について協議、合意する。本月及び翌月にかけて、町村の各議会において組合規約の変更を議決。																											
	10 月	組合規約の一部変更にかかる許可申請を県知事あて提出。11 月 9 日付許可。																											
	12 月	龍神分遣所庁舎建設用地購入。 職員定数条例改正。定員 88 名。																											
平成 2 年	1 月	南部分署庁舎建設用地購入。																											
	3 月	消防庁舎新築工事起工式を実施。																											
	4 月	職員 26 名を増員。総員 86 名。																											
	8 月	龍神分遣所庁舎完成。																											
	9 月	南部分署庁舎完成。 消防庁舎（南部分署、龍神分遣所）竣工式を実施。																											
	10 月	南部分署及び龍神分遣所業務開始。 <table border="0" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">消防職員</td> <td style="width: 30%;">南部分署 17 名</td> <td style="width: 30%;">龍神分遣所 8 名</td> </tr> <tr> <td>配備車両</td> <td>南部分署</td> <td>龍神分遣所</td> </tr> <tr> <td>消防ポンプ車</td> <td>1 台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>軽四輪小型動力ポンプ積載車</td> <td>1 台</td> <td>1 台</td> </tr> <tr> <td>小型動力ポンプ付水槽車</td> <td></td> <td>1 台</td> </tr> <tr> <td>救助工作車</td> <td>1 台</td> <td></td> </tr> <tr> <td>救 急 車</td> <td>1 台</td> <td>1 台</td> </tr> <tr> <td>広 報 車</td> <td>1 台</td> <td>1 台</td> </tr> <tr> <td>その他の車両</td> <td>1 台</td> <td></td> </tr> </table>	消防職員	南部分署 17 名	龍神分遣所 8 名	配備車両	南部分署	龍神分遣所	消防ポンプ車	1 台		軽四輪小型動力ポンプ積載車	1 台	1 台	小型動力ポンプ付水槽車		1 台	救助工作車	1 台		救 急 車	1 台	1 台	広 報 車	1 台	1 台	その他の車両	1 台	
消防職員	南部分署 17 名	龍神分遣所 8 名																											
配備車両	南部分署	龍神分遣所																											
消防ポンプ車	1 台																												
軽四輪小型動力ポンプ積載車	1 台	1 台																											
小型動力ポンプ付水槽車		1 台																											
救助工作車	1 台																												
救 急 車	1 台	1 台																											
広 報 車	1 台	1 台																											
その他の車両	1 台																												
	11 月	組合議会定例会において、管理者に中津村長 赤松寿男氏、副管理者に南部町長 山崎繁雄氏を選任。																											
平成 3 年	2 月	組合規約の一部変更にかかる許可申請を県知事あて提出。27 日付許可。																											
	7 月	組合議会臨時会において、副管理者を 2 名とし、日高町長 志賀政憲氏を選任。																											
	10 月	職員 2 名を増員。総員 88 名。																											
	12 月	消防団招集体制の確立。 「消防団招集（系統）は消防業務開始と同時に担当し、招集系統は防災行政無線系 6 町村（美浜・由良・中津・美山・印南・南部の各町村）、消防無線系 2 町（日高・川辺各町）及び有線放送系 2 村（南部川・龍神各村）をもって、構成町村全ての消防団招集業務を通信指令室で担当しているが、防災行政無線系の操作性、動作性能が他の招集系統と比べかなり劣るため、本年度事業として改良工事を行い、消防団招集体制を確立する。」																											
平成 4 年	3 月	消防長 鈴木計美氏退職。（31 日）																											
	4 月	消防長に管理者中津村長 赤松寿男氏兼任。（1 日）																											
	8 月	川辺町・美浜町の一部地域（22・23 局）からの 119 番通報が、直接消防本部通信指令室に入電可能となる。（従来は御坊市消防本部の経由連絡必要）																											

平成 4 年 9 月	消防長 赤松寿男氏が退任し、前日高県事務所長 笹野公男氏就任。(1日) 川辺町防災行政無線設備運用開始。(1日) 管理者中津村長 赤松寿男氏が退職(15日)し、管理者職務代理者として副管理者南部町長 山崎繁雄氏が就任。 組合議会定例会において、組合管理者に日高町長 志賀政憲氏、副管理者に川辺町長 柏木勉氏、南部町長 山崎繁雄氏を選任。(29日)
平成 5 年 10 月 7 月 12 月	業務開始 10 周年記念行事挙行。(24日) 職員定数条例改正。定員 92 名。 本部・中津出張所・印南出張所配備、軽四輪小型動力ポンプ積載車 3 台更新。
平成 6 年 4 月	職員 5 名を増員。総員 92 名。
平成 7 年 8 月	救助工作車受納式。(22日) (社)日本損害保険協会から救助工作車の寄贈を受け、県当局、町村長及び議会関係者の出席のもと、受納式を行った。
平成 8 年 3 月	本部配備、高規格救急自動車納車。(27日)
平成 9 年 3 月	高度救急処置運用披露式実施。(7日)
平成 10 年 3 月 4 月 5 月 7 月	高規格救急自動車受納式。(26日) 安田生命保険相互会社から高規格救急自動車の寄贈を受け、県当局、町村長及び議会関係者の出席のもと、受納式を行った。(印南出張所へ配備) 消防長 笹野公男氏が退職。(31日) 消防長に管理者日高町長 志賀政憲氏兼任。(1日) 消防長に元日高県事務所長 木村栄行氏就任。(1日) 潜水救助隊発足式。(15日) 平成 3 年度からダイバーを配備し、水中での人命救助活動を続けてきたが、今回、これまで 4 人だった隊員を 10 人に増員し、組織体制を整えるとともに、潜水器具などの整備を一新した。
平成 11 年 3 月	中津出張所配備、高規格救急自動車納車。(18日)
平成 12 年 3 月	南部出張所配備、高規格救急自動車納車。(15日)
平成 13 年 3 月 4 月 9 月 11 月	龍神出張所配備、高規格救急自動車納車。(16日) 職員 1 名採用。(2日) 和歌山県防災総合訓練(御坊市)参加。(1日) 全国消防長会組合消防委員会(南部町)開催。(1日)
平成 14 年 3 月 10 月 12 月	消防本部増改築庁舎並びに消防緊急通信指令施設竣工式を実施。(6日) 職員 1 名採用。(1日) 管理者日高町長 志賀政憲氏が退職(29日)し、管理者職務代理者として副管理者川辺町長 柏木勉氏が就任。 組合議会定例会において、組合管理者に日高町長 中善夫氏を選任。(6日)
平成 15 年 1 月 3 月 12 月	副管理者川辺町長 柏木勉氏が退職。(26日) 組合議会定例会において、副管理者に美山村長 池本功氏を選任。(5日) 中津出張所配備、軽四輪小型動力ポンプ積載車更新。
平成 16 年 7 月 8 月	組合議会臨時会において、副管理者に美山村長 池本功氏を選任。(5日) 本月及び翌月にかけて、町村各議会において南部川村と南部町の合併(平成 16 年 10 月 1 日)に伴う組合規約の変更を議決。

平成 16 年 9 月	組合規約の変更にかかる許可申請書を県知事あて提出。30 日付許可。 副管理者南部町長 山崎繁雄氏が退職。(3 日)
10 月	南部川村及び南部町が組合脱退。(30 日) 南部川村と南部町が合併し、新町「みなべ町」が組合に加入、組合構成 9 町村となる。(1 日)
平成 17 年 3 月	龍神村と田辺市等の合併(平成 17 年 5 月 1 日)による龍神村の組合脱退及び川辺町、中津村、美山村の合併(平成 17 年 5 月 1 日)に伴う組合規約の変更並びに龍神村脱退に伴う財産処分を町村各議会において議決。 町村首長間において、財産処分に関する協議書締結。(25 日) 印南出張所配備、軽四輪小型動力ポンプ積載車更新。
4 月	組合規約の変更にかかる許可申請書を県知事あて提出。11 日付許可。 龍神村、川辺町、中津村及び美山村が組合脱退。(30 日)
5 月	川辺町、中津村及び美山村が合併し、新町「日高川町」が組合に加入、組合構成 6 町、副管理者 1 名となる。(1 日) 合併前の龍神村区域の消防事務受託に関し、新市「田辺市」との間において協議書を締結、県知事あて届出。(1 日)
9 月	組合議会定例会において、副管理者にみなべ町長 山田五良氏を選任。(5 日)
12 月	本署配備、軽四輪小型動力ポンプ積載車更新。
平成 18 年 3 月	田辺市龍神村区域に係る消防事務受託終了、龍神出張所廃止。職員 7 名が田辺市へ身分異動し、総員 85 名となる。(31 日)
11 月	組合議会臨時会において、管理者に日高町長 中善夫氏を選任。(2 日)
平成 19 年 2 月	南部出張所配備、災害対応特殊消防ポンプ自動車更新。
3 月	本署配備、小型動力ポンプ付水槽車及び災害対応特殊救急自動車更新。 消防長 木村栄行氏が退職。(31 日)
4 月	消防長に前消防本部次長 弓場研二氏就任。(1 日) 職員 4 名採用。総員 87 名。(1 日)
平成 20 年 3 月	印南出張所配備、小型動力ポンプ付水槽車更新。
10 月	副管理者みなべ町長 山田五良氏が退職。(23 日)
12 月	組合議会定例会において、副管理者に印南町長 玄素彰人氏を選任。(5 日)
平成 21 年 8 月	災害時の指揮支援体制を強化するため、既存車両を改造し、指揮支援車に構造変更。
9 月	和歌山県防災総合訓練(御坊市)参加。(6 日)
11 月	通信指令装置 P C 更新。
平成 22 年 3 月	印南出張所配備、高規格救急自動車更新。
4 月	職員 3 名採用。総員 88 名。(1 日)
9 月	統合型位置情報システムを導入。
10 月	組合議会臨時会において、管理者に日高町長 中善夫氏を選任。(29 日)
平成 23 年 3 月	南部出張所配備、救助工作車更新。 消防長 弓場研二氏が退職。(31 日)
4 月	消防長に前消防本部次長 佐々木一氏就任。(1 日) 職員 1 名採用。総員 87 名。(1 日)
平成 24 年 1 月	南部出張所配備、高規格救急自動車更新。
3 月	組合議会定例会において、副管理者に印南町長 日裏勝己氏を選任。(2 日)
10 月	消防本部公式ホームページを公開。(1 日)

平成 25 年 1 月 4 月	中津出張所配備、高規格救急自動車更新。 職員 4 名採用。総員 87 名。(1 日)
平成 26 年 3 月 4 月 5 月	本署配備、潜水車兼支援資器材搬送車更新。 管理者日高町長 中善夫氏が退職(27 日) 消防長 佐々木一氏が退職。(31 日) 消防長に前総務課長 山西良一氏就任。(1 日) 職員 6 名採用。総員 88 名。(1 日) 組合議会臨時会において、管理者に日高町長 松本秀司氏を選任。(29 日)
平成 27 年 1 月 3 月 4 月 1 2 月	南部出張所配備、広報車更新。 本署配備、ポンプ車更新。 職員 5 名採用。総員 91 名(1 日) 高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線システム運用開始。(1 日) 本署配備、救助工作車更新。 本部配備、広報車更新。
平成 28 年 3 月 4 月	組合議会定例会において、副管理者に印南町長 日裏勝己氏を選任。(4 日) 職員 4 名採用。総員 92 名(1 日)
平成 29 年 3 月 4 月	中津出張所配備 ポンプ車更新 消防長 山西良一氏が退職(31 日) 消防長に前消防署長 木村奨氏就任(1 日) 職員 7 名採用 総員 92 名(1 日)